

ICTを活用したアクティブ・ラーニング型 授業デザインシート

アクティブ・ラーニングの型	ICT併用型ジグソー学習法		授業者	石川 祐輔
教科・科目	公民・現代社会	設定時数	9時間 6/9時	
単元	日本経済の特質と国民生活	授業集団	16HR(40名)	
本時全体の目標	非正規雇用労働者の増加がもたらす影響について他者と協同的に資料を読み解いて考察している。			

学習内容	本校の生徒の特性を踏まえた各学習内容における主な目標(身につけさせたい力・姿勢)	左記の力・姿勢の「学力の3要素」への分類	左記の力・姿勢を育むための指導内容	教師による発問・働きかけの内容・ICTの利用	教師が特に観察・配慮すべき点や予想される生徒の活動
既存の知識やイメージを活用して課題を考え、表現する。	課題を考える力	1 主体性 2 知識・技能	Q1.「派遣」や「フリーター」という言葉についてどのようなイメージをもっていますか？ Q2. 高校の進路指導などでは「派遣やフリーターにはならないほうがいい。」と言われるそうですが、それはなぜですか？ 問いについて各自で考えてワークシートに記入する。	プロジェクターにジグソー課題を表示し、学習課題を明示する。	
	考えを文章化する力	3 表現力	上記Q1、Q2をイマキク、スグキクに入力する。	イマキク・スグキクの使用	
エキスパート活動 エキスパートグループA・B・Cに分かれて、それぞれのワークシートにある課題に取り組む。	仲間と協力して問題を解決する力	3 思考力 1 協働性	エキスパート活動 エキスパートグループA・B・Cに分かれて、それぞれのワークシートにある課題に取り組む。  A ①企業が非正規社員を雇用する理由②労働者が非正規雇用を選ぶ理由③非正規社員が満足していること④非正規社員が不満をもっていることを示すデータ。  B 正規雇用と非正規雇用の格差(賃金・結婚における格差)を示すデータ。  C 社会保険加入状況を示すデータ、年金制度を解説した図。	・わかりやすく説明のできるように資料を読み解かせる。 ・黙ってしまっているグループへの配慮。 ・特に(難しい)エキスパート資料Cのグループへの配慮。	観察したい生徒の発話 A「企業にとって非正規雇用のほうが都合がいい。」 「非正規雇用労働者は雇用の安定性や福利厚生、賃金の面で不満を持っている。」 B「生涯賃金がすごく違う。」 「教育訓練っていうのも(よく分からないけど)正社員との間で格差がある。」 「非正規雇用だと結婚の面でも正社員との間で格差がある。」 C「正規雇用と非正規雇用では年金額が違う。」
ジグソー活動 各エキスパート活動の内容を報告し、クロストーク課題の答えを考える	分かりやすく表現する力	3 表現力	ジグソー活動 各エキスパート活動の内容を報告する。	時間を区切り、グループ内で発言している生徒は1人だけにする。	観察したい生徒の発話 「企業のいいように使われてしまう。」 「生涯賃金が違うし、公的 社会保険に加入できない こともある。」 「非正規雇用だと結婚できない。」 「非正規雇用だと保険料が払えない。」
	仲間と協力して問題を解決する力	3 思考力 1 協働性	クロストーク課題について再度考察する。		
クロストーク活動 クロストーク課題の答えをイマキク・スグキクに入力する。	考えを文章化する力	2 知識・技能 3 表現力	クロストーク活動 クロストーク課題の答えをイマキク・スグキクに入力する。	イマキク・スグキクの使用	自分の考えが広がったことに気づかせる。
	他の考えから学ぶ力	1 多様性	自分になかった考えをワークシートに書き加える。		

「学力の3要素」についての説明

- 1・・・どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(主体性・多様性・協働性・学びに向かう力・人間性など)
- 2・・・何を知っているか、何ができるか(個別の知識・技能)
- 3・・・知っていること・できることをどう使うか(思考力・判断力・表現力等)